News Letter Vol.02

西海岸・里浜ビーチクリーン2021
～海没地区自然砂浜再生プロジェクト～

一般社団法人うらそえ里浜・未来ネットワーク 2021/09/08

第2回ビーチクリーンはカーミージー地区で開催

漂着ごみの移動作業

第2回のビーチクリーンは、9/2(木)、10:00～10:40、午前中は晴れ午後からはかなり雨が降った一日でした。カーミージー奥の砂浜へのアプローチが容易ではなく、現状は清ちゃんカフェの島田さんが自主的に海岸漂着ごみを浜から回収して店舗の裏にストックしてあるので、後は浦添市の運搬車両に積んでクリーンセンターに持ち込みました。(年度末に再度回収作業を予定)

昨年末の同地区での第4回ビーチクリーン12/11(金)は総計量1,030kg(120袋)、1年半位の回収量でしたが、その後、僅か7か月位で今回の分量です。当日の参加者は15名、しかたに自然案内、笹尾商工・NEOS、サンエーパルコ、港川自治会、琉大から2名の女子大生が初参加、浦添市(環境保全課、美らまち推進課)の皆さんです。ご協力ありがとうございました。

ビニールカバーの取れた発泡ウレタンフロート

鉄製BBQコンロー式

2回目の運搬に積込まれたごみ類

店舗裏の仮置場から移動したごみ類

回収ごみ類は浦添市が処理しました

回収したごみ類は生活用品等が大半ですが、BBQグリル、大型のブイ等の重量級のごみもあり、海水で濡れ砂を含んで重量が割増しになったのかもしれません。ごみの分別、国籍、状態等も含め西海岸地域内各地区の特性をモニタリングする継続的な調査・回収作業の必要性を痛感しています。また、効率的に処理し負担なく継続する一連の作業ができる仕組みを構築する必要があります。西海岸里浜を保全するためには、これからもずっとビーチクリーンは必要で、砂浜へのアプローチ(カーミージー横の砂浜から、セブン工場の先端部から、その他)は不可欠であることから、カーミージー海浜公園ができる前にこの課題に取組むべきと思います。

幸いボランティアの協力はこれまでの実績から心配ないようで、コロナ禍後の再開に向け今の取組みを通して課題解消の方向性を検討していきたいと思います。

回収したごみ類一覧　　単位:kg(ごみ袋数)

燃えるごみ	燃えないごみ	その他袋に入らないごみ
・プラスチック類(ペットボトル等) ・漁具ロープ ・発泡スチロール ・ビニールカバー　等	・ガラス片 ・鉄片、鉄缶類 ・アルミ缶類 ・陶器類　等	・ダイビングフィン① ・発泡ウレタンフロート 大型④、小型③ ・BBQコンロー式(網含む) ・油脂系プラ容器(台湾製？)④ ・漁具筒状プラ、球状ブイ、ゴムパイプ片 ・ポリタンク、プラかご、ビールケース ・FRPシート片、FRP蓋 ・フライパン、包丁、一升瓶 ・魚釣り竿③　等
319.8 (82)	75.0(15)	525.2
920 (96)		

次回は、10/4(月)、10:00～11:30、海没地区

第3回の作業区域は、海没地区(カーミージー橋中間からカーミージー側)を予定します。まだ、大型のごみ類は少ないと思いますが、カヌーに積み込んだ海岸線の運搬方法を試験的に実施したいと思います。現場の状況、当日の海上における気象条件等を考慮して計画を立てたいと思います。ご協力よろしくお願いします。